



トビウオ通信 漁況速報 (5月号)

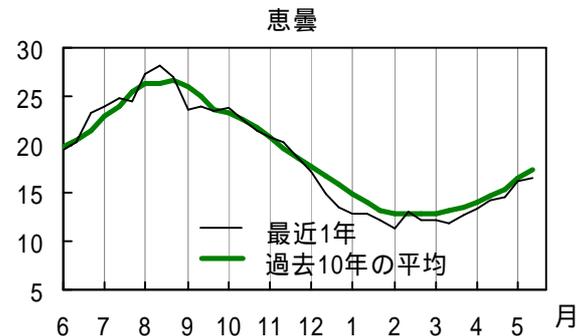
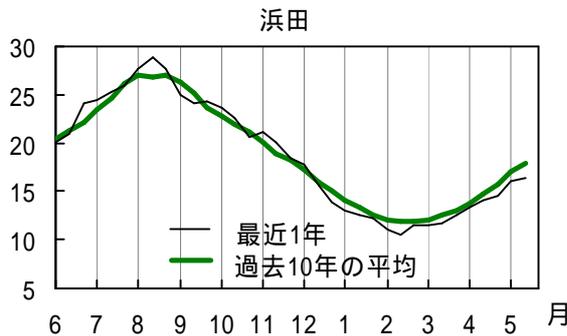
(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/> (TEL 0855-22-1720)

《4-5月の海況》

4月	月平均	平年差	評価
浜田	14.0	-0.8	やや低め
恵曇	14.1	-0.6	やや低め

3月に引き続き4月もやや低めの水温が続き、浜田で平年より0.8、恵曇で平年より0.6低い水温となりました。5月に入っても水温はやや低めに推移しています。



《4月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田では前月に引き続きマアジの漁場形成が不調だったことから、漁獲量、漁獲金額とも平年を大きく下回って低調に推移しました。西郷、浦郷ではカタクチイワシを中心にまとまった漁獲が続き、漁獲量、漁獲金額とも平年を上回りました。

【イカ釣漁業】

前月と同様に低調に推移しました。浜田港（属地5トン以上）および西郷（属人5トン以上）では、スルメイカ中心の漁獲で、水揚げ数はそれぞれ平年の半分、3割程度に留まったこともあり、漁獲量は平年を大きく下回りました。

【沖合底びき網漁業】

浜田港では総漁獲量、1ヶ統1航海あたり漁獲量ともに前年同月、および平年（過去10年平均）を上回りました。スルメイカ、ムシガレイが主に漁獲されました。スルメイカは前年の6割増、ムシガレイは3割減でした。そのほかの魚種ではアカムツが小型中心ながらも前年の4倍、平年の3倍の漁獲がありました。

【小型底びき網漁業】

大田、和江地区ではニギス、ソウハチが主に漁獲されました。1隻1航海あたり漁獲量では、それぞれ前年に対して約1割減少しましたが、ほぼ平年（過去5年平均）並みでした。その他の魚種では沖底と同様にアカムツが小型中心ながらも前年、平年の1.3~2倍の漁獲がありました。

【定置網漁業】

石見地区では休漁が多く、また主要魚種のマアジやイカ類がほとんど獲れなかったため漁獲量は平年の2割と極めて低調でした。出雲地区ではマアジ・ブリが多く漁獲され、漁獲量は平年の1.5倍と好調でした。隠岐地区ではマアジ・ブリ・マダイなどが多く獲れたため平年の1.5倍と好調でした。

【釣・縄】

石見地区ではメダイを中心に平年並みの漁獲量でした。出雲地区ではブリを中心に平年の8割程度の漁獲量でした。隠岐地区ではブリ、カサゴ・メバルを中心に平年並みの漁獲量でした。

【平成 18 年 4 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE (1隻(統)1航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大中型)	浜田	マアジ	95 トン	12	15	6 トン	46	29	
	西郷	カタクチイワシ、マアジ、ウルメイワシ	2,840 トン	121	133	51 トン	134	116	
	浦郷	カタクチイワシ、ウルメイワシ、マアジ	2,005 トン	132	174	46 トン	141	230	
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	50 トン	44	32	245 kg	60	66	
	西郷	スルメイカ	10 トン	25	16	103	9	17	
沖合 底びき網	浜田	スルメイカ ムシガレイ	359 トン	132	104	14 トン	127	119	
小型 底びき網	大田市	ニギス、ソウハチ	157 トン	101	88	573kg	85	99	
	和江	ソウハチ、ニギス	213 トン	96	79	630kg	85	96	
定置網 (大型)	浜田	休漁	-						
	美保関	マアジ・サバ類・マダイ	118 トン	287	208	1028kg	260	175	
	浦郷	ブリ・マダイ・クロマグロ(ヨロ)	21 トン	246	113	687kg	167	92	
釣り縄	仁摩	メダイ、ブリ	11 トン	25	22	43kg	26	27	
	大社	ブリ	46 トン	77	67	56kg	101	106	
	西郷	カサゴ・メバル	4 トン	42	46	21kg	19	36	

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）： が平年以上、 が平年並み、 が平年以下